

川崎駅周辺において 帰宅困難者対策訓練を実施しました

1 概要

平成27年11月18日、川崎直下地震の発生を想定した帰宅困難者対策訓練を実施しました。

川崎駅周辺においては、川崎駅周辺の関係機関及び事業者で構成する川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の関係者及び臨海部の一時滞在施設など約230名が参加し、「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」の実効性を検証しました。

また、今回の訓練では、大地震発生時の状況を考慮し、初めて全市一斉の情報受伝達訓練及び各主要駅周辺（川崎駅、武蔵溝ノ口駅・溝の口駅、登戸駅、新百合ヶ丘駅）における実動訓練を同時に実施しました。

今後も、訓練の継続的な実施と検証を通して、災害時における駅前滞留者の混乱抑制と安全確保のための施策のさらなる推進に向けて取り組んでまいります。

2 訓練想定

川崎市直下の地震（M7.3、市内の最大震度7、最多震度6強）が発生したと想定

3 実施日時、場所及び内容等

(1) 情報受伝達訓練

- ・ 日時：平成 27 年 11 月 18 日（水） 8：30～10：00
- ・ 場所：第3庁舎7階災害対策本部事務局室、各区役所
- ・ 内容：各種通信手段を用いた市本部と区本部及び関係機関等との情報受伝達
- ・ 訓練実施状況

<市災害対策本部>



<区本部>



(2) 川崎駅周辺(臨海部含む)における実動訓練

日時：平成 27 年 11 月 18 日（水） 8：50～10：00

場所：J R川崎駅東西自由通路、京急川崎駅西口改札前広場（ヨドバシアウトレット前）

一時滞在施設：川崎アゼリア、ラゾーナ川崎プラザ、教育文化会館

情報受発信拠点：川崎区役所

- 内容：(1) 駅前滞留者の避難誘導
 (2) 簡易無線機等を使用した駅・区役所・一時滞在施設の連携
 (3) 一時滞在施設の開設運営・災害用伝言ダイヤルの利用体験
 (4) 各種情報伝達手段を用いた情報提供

問い合わせ先

川崎市総務局危機管理室 須田・楠
 電話：044-200-2478・044-200-2858
 FAX：044-200-3972

参加機関：川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会、臨海部一時滞在施設

交通事業者(5)	東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神奈川県タクシー協会、川崎鶴見臨港バス(株)、川崎市交通局
一時滞在施設(16)	川崎アゼリア、ミュージア川崎、川崎商工会議所、ホテルメッツ川崎、川崎日航ホテル、ラゾーナ川崎プラザ、川崎市医師会館、産業振興会館、教育文化会館、幸市民館、港湾振興会館、東扇島福利厚生センター、川崎市船客待合所、川崎エコタウン会館、大川町産業会館、かわさきファズ
民間事業者等(12)	アトレ川崎店、チッタエンタテイメント、川崎駅広域商店街連合会、NREG 東芝不動産(株)、キヤノン(株)川崎事業所、川崎モアーズ、三井不動産商業マネジメント(株)、三井不動産(株)、住友不動産(株)、川崎信用金庫、東日本電信電話(株)、かわさき市民放送(株)
市民団体等(2)	川崎地域連合、川崎区区民会議
行政機関等(4)	川崎警察署、川崎臨港警察署、幸警察署、川崎市（川崎区役所、幸区役所、関係局）

参加機関数：39（参加人数：約230名）

・訓練実施状況

<駅前滞留者の避難誘導>



J R川崎駅東西自由通路



京急川崎駅西口改札前広場



<一時滞在施設の開設運営>



川崎アゼリア



ラゾーナ川崎プラザ



教育文化会館

<要援護者等への対応>



<災害時特設公衆電話の設置訓練・利用体験>



<各種情報伝達手段を用いた情報提供>



河川情報表示板
(JR 川崎駅東西自由通路内)



かわさき Wi-Fi の利用体験



デジタルサイネージ
(川崎アゼリア内)